

教育長日記 (平成25年3月19日)

青い空に浮かぶ白い雲22

—「食物アレルギー対応」—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) 一日に生きることは一歩進むことでありたい (湯川秀樹)

1 食物アレルギー対応

東大和市教育委員会と東大和市立小中学校は、児童生徒の食物アレルギーに関する対応を、

◎「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」

(財団法人日本学校保健会発行、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課監修 平成20年3月初版)

◎「保育園・幼稚園・学校における食物アレルギー日常生活・緊急時対応ガイドブック」

(東京都福祉保健局健康安全部環境保健課編集・発行 平成23年3月発行)

等に基づき行っています。

2 東大和市教育委員会の対応

その一方で、東大和市教育委員会は、現在、「東大和市立小中学校アレルギー疾患への対応マニュアル」の作成を進めています。

これは、調布市立小学校で昨年12月20日に起きた食物アレルギーによる児童死亡事故を教訓にして、学校教育課、指導室、学校給食課のこれまでの個々の対応を一本化し、「東大和市立小中学校アレルギー疾患への対応マニュアル」としてまとめ各学校に示すものです。

教育委員会と学校は、この対応マニュアルと、既に教育委員会や学校に届けられている前記のガイドラインやガイドブック等を活用し、常に危機意識をもって事故防止や事故発生時の迅速かつ的確な対応に努めていきます。今後の対応予定については下記の通りです。

◎東大和市立小・中学校アレルギー疾患への対応マニュアルの作成・提示(平成25年3月発行予定)

◎東大和市立小中学校教職員食物アレルギー対応 校内研修会の実施

(教職員全員の受講を義務付け、対応の基礎知識とDVDの視聴、エピペンの使用実習、校内体制の確認などを行います。平成25年3月26日～28日) < 担当：学校教育課 学務係 藤本、石原、久保田 >

プロフェッショナルの仕事

私は、市役所からの帰りに時々外食を「楽しみます。」なぜ楽しみますに「 」をつけて「楽しみます。」にしたのかというと、味もさることながら、カウンターに座ると調理する姿を目の前で見ることができ、その無駄のないスピーディーな所作が楽しくストレスの解消(?)にもなるからです。

注文は、いつも同じで「二郎レバー定食に餃子2個」。ガチャガチャ、カンカン、ガチャガチャ、カンカン、大きな音を立てて鉄鍋を揺すり注文票を振り返りながら、あっという間に作り上げてしまいます。出来上がる少し前には、指示されたほかのスタッフがどんぶりにご飯を盛り用意します。それは、それはみごとな「技」と「連携プレイ」です。

ある日、お客から指摘があったのか、一度出した料理をスタッフが厨房に持ち帰ってきました。スタッフから報告を受けた厨房のリーダーらしき人は、お客に出した料理を受け取ると、暖簾をくぐりさらに奥にある厨房に入っていました。そして、そっとレンゲを取り出すと、お客に出したその料理をひとすくいし、口に含み味を確かめたのです。

暖簾と暖簾との隙間からたまたま見えた中の様子に、私は、プロの凄みを見た思いがしました。

その後も私は、その店に足を運んで二郎レバー定食に餃子2個を注文し、鉄鍋と格闘する様子を楽しみながら、すっきりした気分が家に帰っています。